

Symptom-based stratification algorithm for heterogeneous symptoms of dry eye disease: a feasibility study

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2023-06-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 榑野, 健 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002922

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2607 号

Algorithm-based stratification for heterogeneous symptoms of dry eye disease: a feasibility study

層別化アルゴリズムを用いたドライアイの多様な症状の層別化：実現可能性研究

榑野 健（なぎの けん）

博士（医学）

論文審査結果の要旨

本論文は、ドライアイ症状層別化アルゴリズムの臨床的有用性を初めて明らかにした臨床的に意義のある論文である。ドライアイの症状は乾燥感のみならず、羞明、眼精疲労、視力低下等の多様で不均一な症状を示す。一方で、ドライアイの多様な症状により適切な診断が下されず、不定愁訴と判断され、未治療のまま症状に苦しんでいる未診断患者が多く存在する。そのため、ドライアイの診療の質の向上には、層別化による個々人に最適化されたドライアイ治療の提供が重要である。本研究は、ドライアイ症状層別化アルゴリズムによって、291名のドライアイ患者を7つのクラスターに層別化することに成功し、各クラスターの臨床的特徴を解明した。ドライアイ疾患特異的質問紙票(Japanese version of Ocular Surface Disease Index: J-OSDI)の合計スコア(中央値: 61.4点)と涙液層破壊時間(1.5秒)はクラスター1が最重症群であった。また、本研究で層別化された各クラスターのJ-OSDI合計スコアと先行研究にて特定された各クラスターのJ-OSDI合計スコアは有意に高い相関を示した($r = 0.991$, $P < 0.001$)。ドライアイ症状層別化アルゴリズムを用いたドライアイの多様な症状の層別化は、多様なドライアイ患者に対し、個々人に最適化された治療提案を実現する上で大変価値のある研究であると考えられる。

よって、本論文は博士(医学)の学位を授与するに値するものと判定した。